



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2382S		
科目名	経営学		
担当教員	崎本 武志		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1502	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（50%） F2 課題解決（20%） H1 論理的思考（15%） I1 理解・分析と読解（15%）		
教員の実務経験	1990年よりJTBにおいて12年間、旅行商品をベースとした総合的な実務に携わってまいりました。また、旅行商品のみならず、観光地域経営にも携わっております。本授業では、企業や組織、地域に於ける経営学的な営みについて、事例に基づき講義を行います（第6回、第10回、第14回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 2 進期期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	経営学にはじめて触れる学生を想定し、経営学の入門科目として位置づけます。経営学の基本的なテーマである、①経営戦略論（環境の変化を読み方針を立てる）、②経営組織論（組織を作り人を動かす）、③技術経営論（イノベーションと呼ばれる経営の革新・開発などを行う）について扱います。また、経営学が企業(会社)の経営戦略や企業行動にどのように活かされ、実践されているかについて、事例を用いて学修します。こうした学修を通じ、受講される皆さんが社会に出られたのち、実際の企業などの活動でどのように活躍するのかについて、わかりやすく解説していきます。 ■キーワード マネジメント, サービス, イノベーション ※授業形態は講義形式により行います。事前の連絡が無い限りは対面で行いますが、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するために、オンライン授業を一部取り入れる場合があります。		
授業の趣旨	■副題 はじめての経営学 ■授業の目的 ①初学者のみなさんにもわかりやすく、経営学の骨格を解説する。 ②経営学の3つの柱である経営戦略論、経営組織論、技術経営論の理論を、幅広く解説する。 ③実際の企業や組織、地域などで実践されている事例に基づいて、実践的に解説する。 ■授業のポイント		

	経営学は、経済活動をとまなう実践的な活動です。企業や地域などの組織で行われることもありますが、個人商店やベンチャー企業のように、ひとりや少数で行われることもあります。しかしながら、社会の中において単独で成立する経済活動はありません。これは経済が伴わないコミュニティにおいても同様です。本講義では、経営学を通して経済活動のみならず社会活動における広い範囲での営みについて、具体的かつ総合的に解説していきます。	
総合到達目標	危機管理学部におけるDP1-E〔学識・専門技能〕（専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる）およびDP4-I（理解力・分析力）（文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる）の両ディプロマ・ポリシーに関連して、次の点を到達目標とする。 1. 経営学における理論全般(経営戦略論、経営組織論、技術経営論)の基本的な理論とその実践事例を学び、体系的に経営学の基本事項を理解・修得し、実社会での活用を目指す。 2. 経営学全般の基本的な理論を用いて、現実の企業の経営戦略や企業行動をはじめ幅広い意味での社会活動を総合的に分析し、課題解決を図ることができるだけの知識を習得する。 ・経営学的な視点から危機管理に関する関連について説明できる。(第1・2・15回) ・経営学の理論に基づき、身近なヒューマンエラーから経営リスクに至るまでの危機管理について推論できる。(第3・7・11回) ・経営学の理論に基づき、危機管理について予測し、それらを分類し比較することができる。(第4・8・12回) ・経営学の理論に基づき、さまざまな危機管理について具体的に分析し、述べるができる。(第5・9・13回) ・経営面での具体事例に基づき、さまざまな危機管理について列挙し、防止策について提案することができる。(第6・10・14回)	
成績評価方法	■期末レポート1回(50%)：適用ルーブリック F2・H1・I1 （評価の観点）学習した経営学理論について正しく解釈し、危機管理に関する課題解決策などに関して論理的に述べられているか、について主に評価します。 （フィードバック方法）ポータルにて解説・講評を行います。 ■授業後フィードバックレポート(50%)：適用ルーブリック F1・G1・H1 （評価の観点）当該単元の理解度を評価するとともに、状況を把握し課題解決に向けた探究がなされ、これらが論理的に論述されているか、について主に評価します。 （フィードバック方法）次回講義において、教員より学生の皆さんに対してフィードバックレポートに関するコメントを行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	本講義では、講義終了後に毎回フィードバックレポートを書いていただきます。この提出をもって出席とします。提出が無い場合は出席とはみなしませんので、充分ご注意ください。	
授業内容	回	内容
	1	以下の内容は予定です。受講者数や講義への理解の状況、学生の皆さんの興味関心によって、内容を変更することがあります。 ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 経営学の基本的な考え方と講義の進め方について扱います。本講義の到達目標や学習計画、講義運営についても解説し、今後の学修計画だけでなく将来設計にどのように役に立つか、についても触れていきます（E1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、本講義の受講動機や学修目標についての論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 経営学とは何か、について文献などにに基づき情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
	2	①授業テーマ 経営学および経営理論についての概説 ②授業概要 経営学の基本的なテーマである、①経営戦略論(環境の変化を読み方針を立てる)、②経営組織論(組織を作り人を動かす)、③技術経営論(イノベーションと呼ばれる経営の革新・開発などを行う)について扱います。そして、これらの相関関係についても解説します（E1・I1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営戦略論、経営組織論、技術経営論の理解度についての論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。

	③予習(120分) 経営学の3つの柱について、文献などにに基づき情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
3	①授業テーマ 経営戦略論PART I ②授業概要 経営戦略論の基本的なテーマである、環境の変化を読み経営方針を立てることについて扱います。そして、これらの方向性を含めてどのような理論が存在するのか、について具体的に解説します(E1・H1・I1)。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営戦略論における経営方針の立案についての論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 経営戦略論について、文献などにに基づき情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
4	①授業テーマ 経営戦略論PART II ②授業概要 経営戦略論における理論について、具体的な解説を行っていきます。今回は経営戦略および事業戦略、そして競争戦略について解説します(E1・H1・I1)。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営戦略論における事業戦略、競争戦略についての論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 経営戦略とは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
5	①授業テーマ 経営戦略論PART III ②授業概要 経営戦略論における理論について、具体的な解説を行っていきます。今回はマーケティングをはじめとするカスタマー（対消費者）戦略について解説します(E1・H1・I1)。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営戦略論における対消費者戦略の立案に関する論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) マーケティングとは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
6	①授業テーマ 経営戦略論PART IV ②授業概要 経営戦略論における理論について、応用的な解説を行っていきます。担当教員の実務経験を踏まえて、アウトソーシング、地域ブランディングなどについて解説します(E1・F2・H1・I1)。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営戦略論における地域ブランディング戦略の立案に関する論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) アウトソーシング、地域ブランディングとは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
7	①授業テーマ 経営組織論PART I ②授業概要

	経営組織論の基本的なテーマである、組織をつくり人を動かすことについて、総合的に扱っていきます。そして、これらの方向性を含めてどのような理論が存在するのか、について具体的に解説します（E1・H1・I1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営組織論における方向性の立案に関する論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 経営組織論について、文献などにに基づき情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
8	①授業テーマ 経営組織論PART II ②授業概要 経営組織論における理論について、具体的な解説を行っていきます。今回は組織デザインと意思決定について解説します（E1・H1・I1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営組織論における理論に基づいた組織デザインと意思決定に関する論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 組織デザインとは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
9	①授業テーマ 経営組織論PART III ②授業概要 経営組織論における理論について、具体的な解説を行っていきます。今回はリーダーシップとモチベーションについて解説します（E1・H1・I1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営組織論においてどのようなリーダーシップを取るとモチベーションが上がるか、について問う論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) リーダーシップとは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
10	①授業テーマ 経営組織論PART IV ②授業概要 経営組織論における理論について、応用的な解説を行っていきます。担当教員の実務経験を踏まえて、マクロ組織論、地域経営におけるDMO（Destination Management Organization）などについて解説します（E1・F2・H1・I1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、経営組織論に基づいた地域における組織のあり方を問う論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) マクロ組織論、DMOについて文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
11	①授業テーマ 技術経営論PART I ②授業概要 技術経営論の基本的なテーマである、経営の革新・開発などについて扱います。そして、これらの方向性を含めてどのような理論が存在するのか、について具体的に解説します（E1・H1・I1）。 講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、技術経営論における経営の革新・開発に関する論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 技術経営論および技術経営の実践事例について、文献や記事などにに基づき情報収集を行う。

		④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
	12	①授業テーマ 技術経営論PART II ②授業概要 技術経営論における理論について、具体的な解説を行っていきます。今回はその大本となるイノベーションについて、全体像を解説します（E1・H1・I1）。講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、技術経営論におけるイノベーションのあり方についてを問う論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) イノベーションとは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
	13	①授業テーマ 技術経営論PART III ②授業概要 技術経営論における理論について、具体的な解説を行っていきます。今回は生産管理と品質経営、およびプロセスイノベーションについて解説します（E1・H1・I1）。講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、技術経営論における生産管理と品質経営、プロセスイノベーションのあり方についてを問う論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 生産管理および品質経営とは何か、について文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
	14	①授業テーマ 技術経営論PART IV ②授業概要 技術経営論における理論について、応用的な解説を行っていきます。担当教員の実務経験を踏まえて、製品開発、組織イノベーションなどについて解説します（E1・F2・H1・I1）。講義後、フィードバックレポートを設定します。1週間後を締め切りとし、技術経営論における製品開発、組織イノベーションのあり方を問う論述課題とします。締め切り後、論題解説を共有します。 ③予習(120分) 製品開発や組織イノベーションについて文献や具体事例などを調べ、情報収集を行う。 ④復習(120分) 講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
	15	①授業テーマ 経営学および経営理論についてのまとめ ②授業概要 これまで扱ってきた経営学の理論や実践事例についてのまとめを行い、将来像について解説します（E1・F2・H1・I1）。期末レポートを設定します。1週間後を締め切りとし、これまで扱ってきた経営理論をリスクマネジメントにどのように活かしていくかについて提案することを内容とする論述課題とします。締め切り後、説明を含む問題解説を共有します。 ③予習(120分) これまでの講義資料を振り返り、基本的な理論概念についての復習を行う。 ④復習(120分) これまでの講義資料を参照しながら内容に関連する書籍・論文・記事等を読み、理解をさらに深める。
関連科目		
教科書		教科書は使用せず、各講義回において資料を作成します。なお、講義資料は事前にGoogle Classroomにアップしますので、適宜復習などにご活用ください。

参考書・参考URL	入山章栄（2019）「世界標準の経営理論」ダイヤモンド社 高橋伸夫（2016）「大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる」KADOKAWA 榎原清則（2013）「経営学入門[上](第2版)」日本経済新聞出版社 榎原清則（2013）「経営学入門[下](第2版)」日本経済新聞出版社
連絡先・オフィスアワー	連絡先(勤務先) sakimoto@edogawa-u.ac.jp （自宅）takeaka_sa@yahoo.co.jp
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント30%；パブリックセキュリティ30%；グローバルセキュリティ30%；情報セキュリティ10%

